

# 街角中継車

## CITY LIVE

- 1マンオペレートシステム
- リチウムイオンバッテリー蓄電方式を採用
- 路地へ入って行けるコンパクトボディー
- 伝送は光通信標準装備



街角中継車「CITY LIVE」は1オペレータでの中継、収録、伝送を可能にした放送業務用多用途車輛システムです。

省力化、省電力化を実現した新しいコンセプトによるユニークな中継車で、テレビ中継以外にも、大容量電源車や機材運搬車として多用途に供する事ができる経済車輛です。

## ■最少の人員で最も効率的に中継、伝送を行う事ができます。

中継車内のオペレータが1人で2台のリモコンカメラ操作とスイッチャーの操作を行う事により、1オペレータ操作を実現しています。また、リポーターを同行させる事で、街角生ライブ放送が簡単に実現します。



## ■中継現場での準備作業を極限まで減らしました。

中継現場では2台のリモコンカメラをセットするだけで準備完了です。軽自動車でありながら、大容量 (2.5kWh) の電源を標準装備していますので、あとは電源スイッチを「ON」すれば、すぐに放送ができます。

## ■光伝送装置を標準装備

低遅延で広帯域の光伝送により、ビル等の建物の影でも安定した中継ができます。

## ■路地へ入って行けるコンパクトサイズ

軽自動車を使用していますから、狭い路地のほんの少しの駐車スペースで中継を行う事ができます。エンジンを完全停止状態 (エアコンを使用しない場合) で中継・収録ができます。

## ■リチウムイオン蓄電システムを標準装備



キャリアラックの後ろ部にピッタリと納まるワゴン形状です。

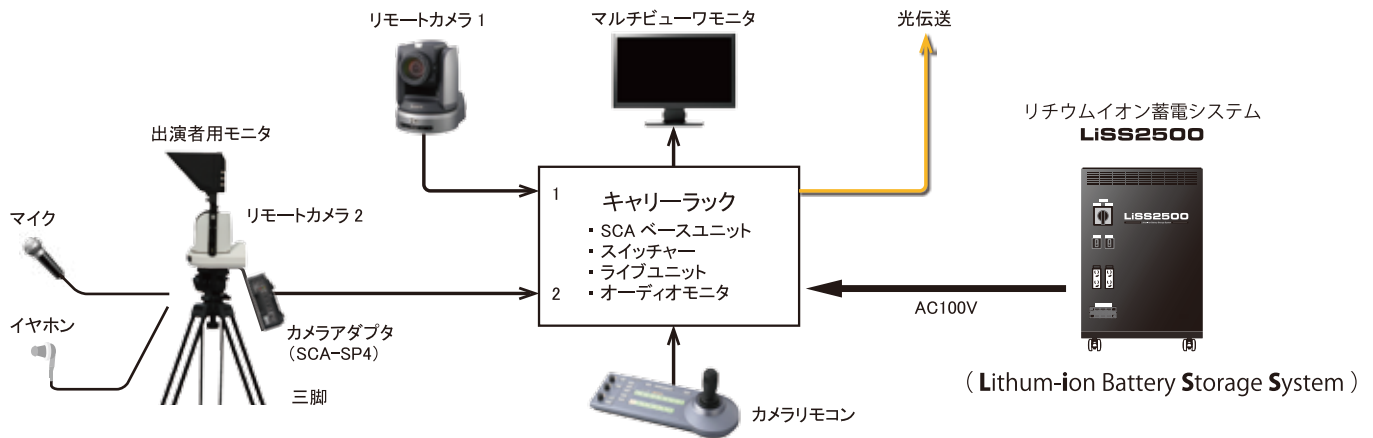
容量は 2.5kWh で、このシステムを連続で5時間稼働させる事ができます。バッテリーの残量計や充電電流計、出力電力計等の表示パネルを装備、また、AC100V 用急速充電器、さらに AC100V インバータを内蔵した一体型のワゴン型式ですから車から降ろして単独での使用も可能です。

騒音、振動、排気ガスが全くありませんので、静寂な住宅街や深夜でも安心して中継を行う事ができます。

この蓄電システムに使用しているリチウムイオンバッテリーは、ディープサイクルバッテリー等、通常のバッテリーに比べ7倍以上の長寿命 (5,000 回以上の充・放電回) を誇り、また質量も通常の鉛バッテリーの約半分です。



## CITY LIVE ブロック図

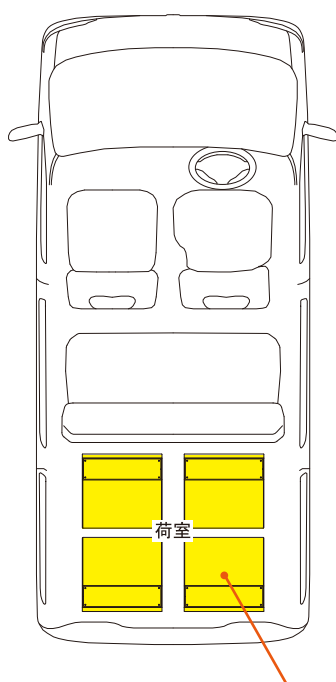


## リチウムイオン蓄電システム **LiSS2500**



容量	2.5kWh
定格	2kWh
充電時間	5 時間
出力	AC 100V
入力	AC 100V
外形寸法	W 430
	H 644
	D 400
質量	約 55kg

軽自動車「オートキャリー・ミニ」を大容量電源車として御使用できます。



リチウムイオン蓄電システム  
**LiSS 2500** 4台

オートキャリー・ミニの荷室レールにリチウムイオン蓄電システムを積載する事により、大容量の電源を何処にでも移動する事ができます。  
リチウムイオン蓄電システムは 2.5kWh タイプの LiSS2500 と、 6.4kWh タイプの LiSS6400 2 機種が用意されており、LiSS2500 は 4 台積載可能 (全容量 10kWh)、LiSS6400 は 2 台積載可能 (全容量 12.8kWh) です。  
この蓄電システムを用意される事で、屋内では停電時に UPS として使用でき、また災害・救援等では車載して非常時電源車として使用する事も可能です。

### 特長

- ・車の改造は全くありません。荷室に特殊な床を取り付けるだけです。
- ・蓄電システムはキャスター付ですから車から降ろして望みの場所で使用する事ができます。
- ・音も振動も排気ガスも「0」(ゼロ)ですから非常時の病院内等で使用する事ができます。
- ・使用しているリチウムイオンバッテリーは長期間にわたり安全に安定してご使用いただけます。

(例) 1日2回充放電 × 1ヶ月20日稼動 × 12ヶ月 × 10年 → 4800回

- ・小さな車体ですから狭いところへ入り込めますので緊急時、災害時の救援車として高い実用性を発揮します。  
特に、リチウムイオン蓄電システムは現場でスイッチを ON するだけで直ぐに使用できます。エンジン発電機とちがっていざという時にエンジンがかからなかったりというような事がなく、安定して作動します。



株式会社コスミックエンジニアリング

<http://www.cosmic-eng.co.jp>  
c1000@cosmic-eng.co.jp

〒191-0065 東京都日野市旭が丘3-2-11  
TEL 042-586-2933 FAX 042-584-0314

2015.02 版

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。